

◎産業振興、教育の復興など松本地方を愛し、松本地方の今日の礎を築いた人物伝。

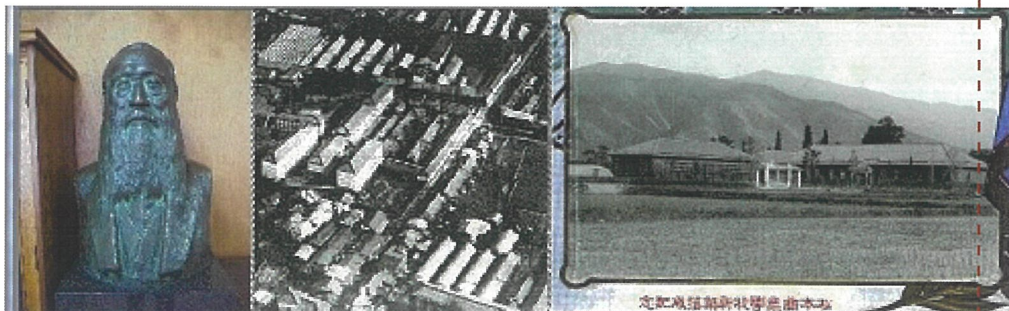
「製糸界の巨頭」今井五介の足跡

—明治・大正・昭和、松本地方の発展に絶大な貢献！—

The 52th Shinshu
Historical Forum



《信濃人物列伝・第2回》



(左)今井五介胸像。松本商工会議所の会頭室に置かれている。(中)片倉製綿紡績株式会社松本製糸所(絵葉書)。今のイオンモールの場所。(右)埋橋時代の松本商業学校(絵葉書)。大正3年に上土から埋橋の新校舎に移転した。

2026年9月19日(土)午後2:00~4:00

■会場：Mウィング大会議室 3-2(松本市中央1-18-1) 専用駐車場は無し

■会場受講料：1000円(資料代込み) ■定員：100人(ご予約先着順)

■会場ご予約：お電話(TEL: 0263-34-1514 事務局・留守録)

：メール(info@shinfor.net宛・件名=R51 本文=お名前と電話番号)

■WEB受講料：500円 ※Zoomで実況配信/下記HP(またはQR)から
終了後もアーカイブ[録画]が視聴可能。→<https://www.shinfor.net/>)



●講師：窪田 雅之 氏

(松本市文書館特別専門員、元松本市立博物館長)



今井五介は安政6年(1859)に片倉市助の三男として今の岡谷市で生まれ、のちに今井家の養子。明治19年(1886)に蚕糸業研究のため4年間アメリカで学び、帰国後の23年に実兄設立の片倉松本製糸所長に就任。その後、国内最大級の製糸家となった片倉家の躍進とともに経済人として頭角を顕わします。明治41年に松本商工会議所初代会頭に就きました。また公共性の高い企業経営に積極的に参画し、松本電灯の経営、信濃鉄道(現JR大糸線)の創設などインフラ整備にも貢献しました。



ありし日の今井五介翁

一方、教育文化の振興にも寄与しています。松本戊戌学校(松本商業学校、現松商学園高等学校)の経営再建の救世主となり校舎を上土から埋橋へ移転、木崎夏期大学の創立と信濃公堂の寄附等々。今回は、今井五介が松本地方の経済界や教育文化の振興に寄与した営みについて、皆さんと五介の業績を学びます。(窪田雅之)

◆主催 信州フォーラム事務局

◆後援 松本市教育委員会